Wilderness First Aid Workshop

-野外災害救急法　体験ワークショップ -

救急車が来られない・時間がかかる時、現場の人は何をすべきか

-処置や看護に長い時間がかかる状況（ウィルダネス状況下）では、それに対応する知識技術が必要です-

　病院からは遠く離れた野外環境で発生した傷病者あるいは大規模災害が発生したとき。そこがもし携帯電波の圏外だったり、救助まで何時間もかかる場所だったら…。

　現場の救助者にとって過酷な状況でも、傷病者の判断や行動の裏付けになる考え方。これが野外災害救急法の強みです。

過去の参加者からの感想

○ 評価・観察方法で新しい方法を学べてよかった。
○野外環境下でのファーストエイドの考え方が変わった。
○野外と都市部の違いを理解できた。
○体験的に学べてあっという間の 2 時間だった。
○医療の人間でなくてもわかりやすい説明だった。　など

【ワークショップの特徴 】

◇ 座学と体験を交えることで実践的に取り組めます。

◇ WMA カリキュラムの紹介だけでなく、短時間でも「学びになる」情報をおとどけします。

【WMA 体験ワークショップ開催要項】

日時　2018 年 3 月 28 日(水)
場所　ニセコ町民センター2 階　ニセコ町字富士見 95
電話　0136(44)2221
時間　13 時から 2 時間程度を予定
受講料　無料
主催　(一社)倶知安観光協会　☎ 0136-55-5372

【プログラム】

◇「ウィルダネス」とはを知る。
◇「WMA」という団体の紹介
◇人体の構造の基礎
「酸素化」と「重要器官系」を知る
◇野外で使える評価の技術を知る。
◇ケーススタディーから知る　など

※内容は状況によって変更になることがあります。